

### 校長講話

NHKの第一放送に「チョコちゃんに怒られる」という番組があります。時々ハッとさせられる問いかけを行うので、アクティブラーニングそのものだなあと楽しんでいます。

先日、なぜ学校の校長の話は長いのかという問いかけがありました。自分でも昔聞いた校長先生の話は長いだけで結局何を言っているのかつかみどころがなかったことを思い出します。

「チョコちゃん」の答えは、ネタ本があるからでした。「校長のとおきの話」という本が売れているそうです。長年経験則から困ったときにはこういう風に話をするものだというネタ本があり、校長はそれを見て自分なりにアレンジするから話が長くなるということでした。どこかわかるような気がします。

校長になって、全校生に話をするときには、とにかくかいつまんで言いたいことをストレートに伝える、分かってもらうことを第一に心がけています。

一番覚えている校長先生のお話は、磐城高校2学年時代の白岩校長の話で、「今年度の模擬試験の成績は、福島高校や安積高校より上位でありすこぶる愉快である。以上」というのがありました。

これは長い記憶の底に確実に定着しますし、印象深いものがあります。その後、校長室に磐城高新聞の記事を書いてほしいと尋ねたときに、「そんなにうまぐかけねえよ。おれは文章下手なんだ。」と会津弁で気さくに話してくれるのを聞いてそのギャップがおかしかったと旧友が話していたのを覚えております。

せめて、次の集会には、短くすっきりとした校長講話をすることにします。生徒諸君の記憶に残してもらえそうな仕掛けを考えましょう。